

東京湾環境一斉調査参加団体を募集します！

東京湾環境一斉調査は、国、自治体、研究機関、臨海部及び関連流域の企業や市民団体など、多様な主体が連携し、東京湾及び流域河川の水質等を一斉に調査することにより、東京湾とその関係する陸域の水質環境を把握するとともに、東京湾再生への関心を醸成すること等を目的として、平成20年度から実施しています。

本調査では、企業や市民団体の方々の参加を募集しており、基準日の8月6日（水）前後に実施する東京湾岸域及び流域での環境調査をはじめ、水生生物調査の報告や環境啓発活動等のイベント実施内容についての報告をお願いしています。詳細及び参加申込方法については、下記ホームページをご覧ください。

※平成26年度の調査実施日は8月6日（水）です。

ホームページ：http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KANKYO/TB_Renaissance/index.html

問い合わせ：環境局環境対策課

TEL 200-2521 FAX 200-3922

大気中の放射線量モニタリング結果（平成26年6月）

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建物屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、6月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 建物屋上（連続測定）・・・約0.02～0.04マイクロシーベルト/時間で推移（6月15日現在）
- 地表面付近（月1回測定）・・・測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト/時間

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04～0.05	0.05	0.06～0.07	0.05～0.06

※ マイクログレイ/時間で測定した値をマイクロシーベルト/時間に換算して表記しています。

※ 原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ＝1シーベルト」として換算します。

※ 文部科学省によると、一般的な自然界の放射線量レベルの範囲は0.03～0.1マイクロシーベルト/時間です。なお、神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト（地上約3m）の平成21年度（福島第一原子力発電所の事故以前）の年平均値は0.023～0.042マイクロシーベルト/時間でした。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境対策課

TEL 200-2516 FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果（平成26年6月）

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、6月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）・・・0.051～0.069マイクロシーベルト/時間で推移（6月15日現在）
- 埋立処分場の内水等・・・測定結果は次のとおり

単位：ベクレル/L

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.5～3.3 (検出下限値:1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週2回
放流水	2.8 (検出下限値:1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値:1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、5月15日から6月15日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ：<http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局施設部処理計画課

TEL 200-2590 FAX 200-3923